

ペーパーキャップを314個

YANAGI PROJECT 庁舎や所管施設へ配布



谷藤市長（左）にペーパーキャップを託した横田代表

トイレットペーパーホルダーなどの企画・設計・製造を行っている「YANAGI PROJECT」（「ヤナギ・プロジェクト」、横田淑子代表）は19日、盛岡市にペーパータオルなどにかぶせる「ペーパーキャップ」を314個寄付した。ペーパーキャップは市役所内15課とそれぞれ所管する施設で使用される。

ペーパーキャップは、コロナ禍で利用が増えているペーパータオルやフィルムパックタイプ、ティッシュペーパーにかぶせるもので、同社が開発。簡単かつ衛生的にペーパーを取り出すことができる。同社が寄付したのはスモール（ペーパータオル小判サイズ）、フィルムパックティッシュ（ペーパーに適應）が20個、ミドル（ペーパータオル中判・レギュラーサイズに適應）が294個。

谷藤裕明市長は「寄付していたいたいた。ペーパーキャップは趣旨に沿って有効に活用する」と横田代表に感謝状を手渡した。横田代表は「衛生的にペーパータオルを使

用できるものなので、老人施設など、意義があるところに届いてほしい。全て岩手で作っているのが、縁があればこれからも寄付をしていきたい。多くの店舗で取り扱ってもらえるよう取り組んでいく」と思いを語った。同社のペーパーキャップは裏面に特殊な樹脂の滑り止め加工が施されているため、フィルムがずれることなく、最後の一枚まで気持ちよく利用できる。表面には可視光応答光触媒コーティング液が使用されており、太陽光や蛍光灯、LEDの光に反応し、付着したにおいや菌を分解する効果があるという。